

たかやま

令和6年度 第9号

発行日：R7.1.20

発行元：高山小学校

文責：校長 東 忠孝

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしく願います。

今年は巳年です。「巳」は蛇のイメージから「再生と変化」を意味します。脱皮し強く成長する蛇は、その生命力から「不老長寿」を象徴する動物、または神の使いとして信仰されてきました。それにあやかっただけ私たちも脱皮し、成長していきたいと思っています。

三学期のスタートにあたり

今年は曜日の関係で短い冬休みでしたが、穏やかな天候で過ごしやすかったと思います。始業式では次のことを話しました。

二学期の終わりに「一年の計は元旦にあり」という話をしました。元々は別の言葉からできたものです。それは、

一年の計は春にあり、一月の計は朔にあり、一日の計は鶏鳴にあり

ということばです。一年の計画は春に立て、一か月の計画は朔(ついたち)に立て、一日の計画は鶏鳴(けいめい、一番鶏が鳴く早朝)に立てることを意味する表現です。年・月・日を問わず、物事が始まるタイミングで計画やめあてを立てるべきだ。要するに最初が肝心ということです。朝、鏡を見ながら、あるいはバスの中で「その日のめあて」をもちスタートできるといいですね。

もう一つ、「終わりよければ全てよし」という言葉を紹介しました。

二〇二四年は十二月で終わりましたが、令和六年度は今学期で終わりをむかえます。終わりをよくするためには途中の努力が大切です。けれ

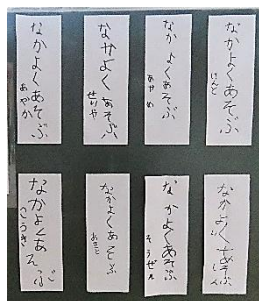
ど、ずっと努力し続けるのはものすごく大変な事です。たとえ途中で、できなかつたり失敗したりしたとしてもそれを取り返すつもりで諦めないことが大事です。

もう一つ今学期、取り組んでほしいことがあります。それは「感謝を伝える」ということです。あなた方の周りには、一緒に学ぶ仲間がいて、心配し支えてくれる人がいて、協力し応援してくれる人がいます。誰がいるか思い浮かびましたか。何人の顔が出てきましたか。今思い浮かんだ人よりもっともっとたくさんの方がいて今があります。直接言葉でもいいし、手紙でも、あるいは行動でもいいです。その人たちに感謝の気持ちを伝えて、今の学年をしめくりましょう。

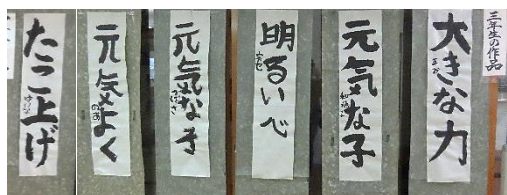
新春 書初め展

二学期の書き初め練習会や冬休みの課題として取り組んできた作品は、書き初め展に出品したり校内に掲示したりしています。来校された時には一画一画丁寧に書いた作品をご覧ください。

【一年生】



【三年生】



【四年生】



【五、六年生】



小豆ご飯を味わう新年会(中・高学年)

五、六年生のお米学習、三、四年生の畑の学習でお世話になった、地域講師の方を招いて収穫を喜び感謝する会「小豆ご飯を味わう新年会」を開催しました。今回は電気炊飯器ではなく、鍋で炊き、炊き方であつたり炊きあがるまでの様子を学ぶこともできました。炊きたての味と香り、素材そのものの味を楽しめたと思います。

ちょうど十五日は小正月(こしよがつ)です。地域によっては煮た小豆を混ぜて炊いたお粥を食べる風習があります。それは、「小豆のように赤い色の食べ物には邪気を祓う」と考えられていた中国の古い風習に由来しているのだそうです。これを食べて一年の無病息災を願いましょう。



子ども達は元気です!!

十日は朝から雪が降り、高山小学校はすっかり雪に覆われました。子ども達は大喜びで外に出て雪遊びを楽しみました。中には半そで短パンで出ている元気っ子も…手袋や靴がびしょびしょになってもお構いなしで、走り回っていました。



また、寒い時季でもしっかりと体を動かしています。右の写真は、十四日のやる気マンマンキャンペーンと十六日のマッスル集会(バナナおに)の様子です。まだまだ、寒い日は続き、感染症も心配な季節ですが、打ち勝つ体力・気力を感じます。



入賞 おめでとう

(敬称略)

◇第四十六回みどりを守る作文コンクール

【佳作】 三年 深見和穂子

◇「ふるさと そして 未来」作文コンクール

【難波利三賞】 六年 芝尾 知紘

◇絵で伝えよう!私の町のたからもの絵画展

【優秀賞】 六年 高橋 由尚



ありがとうございました

◇更生保護女性会より

大田地区更生保護女性会より一万円分の図書券と「二分の一人」という意味で四年生にフクロウのマスコットを頂きました。

